



六芳園で建築士の説明を受ける参加者たち

下妻の中心市街地のまちなみを歴史的資産と捉え直し、回遊型のまちづくりを提案することで観光などにつなげようと茨城県建築士協会が主催した「建築士さんと歩くまちなみ探検」に、市内外から親子連れや観光客など116名が参加しました。

出発前に光明寺で開かれたオリエンテーションでは、筑波大学の藤川昌樹教授から「観光地に行くとは何でもよく見るが、普段の生活の中では見ていない。今日はよそ者の目でまちなみや建物を見てほしい」とアドバイスを受け、その後8班に分かれてまちなみ探検に出発。上町の六芳園（昭和2年建築）や西町のピンフォールド邸（大正12年建築）など10か所以上の歴史的建物や下妻街道沿いのまちなみなどを歩いて楽しみました。

参加者からは「車だと通り過ぎるだけだったが、歩くといろいろなものが見えてきた」などとグループ発表がありました。

歴史的建築物を生かしたまちなみづくりを考える

建築士さんと歩くまちなみ探検

市内公民館や市民センターを利用する団体・サークルの日ごろの成果の発表と交流の場となる「第14回公民館まつり」が2月21日～23日の3日間、下妻公民館と市民文化会館で開催され、延べ1,500人が会場を訪れました。

歌やダンスなどの「発表部門」のほか、写真や絵画、陶芸、生花など力作ぞろいの「展示部門」、菓子作りやおりがみ、健康法など体験を通して学ぶ「体験部門」に、子どもから高齢者まで一緒に参加し、交流を楽しみました。

おりがみ教室に参加した小学2年の女子児童は「学校ではおりがみは教えてくれない。やさしく、わかりやすく教えてもらえて、楽しくピカチュウが作れた」と笑顔で話してくれました。



子どもから高齢者まで一緒に楽しむ「おりがみ教室」

利用者の笑顔が映える公民館まつり

第14回公民館まつり



水面に優雅な姿の白鳥たち

砂沼の観桜苑周辺で4羽の白鳥が見られ、近隣住民や砂沼を散策する人たちの目を楽しませています。

白鳥が見られるようになったのは1月28日ごろからで、オレンジ色のくちばし上部の付け根に、黒いこぶのようなものがあることから「コブハクチョウ」と思われます。

砂沼周辺での散歩を日課にしている60歳代の女性は「以前、砂沼に白鳥が来たのは5年以上も前のこと。今回の4羽は、人を見ても怖がらずに近寄ってくるんです」と話していました。

白鳥を見かけたときは、そっと見守ってあげてください。

砂沼湖面を悠々と泳ぐ白鳥たち

砂沼に白鳥4羽が飛来



Town Topics



浦安市とマラソンで市民ランナー交流

第23回東京・ベイ浦安シティマラソンで市民交流

災害時の相互応援協定の縁により始まった浦安市との市民交流事業で、2月2日の「第23回東京ベイ浦安シティマラソン」に下妻市民37名が招待されました。

マラソン日和に全国から5,495人のランナーが集まり、下妻市民は舞浜ホテル群周辺の海岸沿いを走る8キロメートルの部（B）で参加者全員が完走。気持ちのいい汗をかきながら走りを楽しんでいました。

一般39歳以下の女子の部で見事6位入賞を果たした鈴木紗彩さん（下妻丙・大町）は「初めての参加で8キロメートルは長かったが、自分のペースを保てた。沿道からたくさん声をかけてもらい頑張れた。来年は表彰台を目指したい」と笑顔で意気込みを話してくれました。



ゴール間際、浦安市運動公園内を力走する下妻市民ランナー



大宝八幡宮（2月3日・昼の部）



愛宕神社（2月2日）

福を呼び込む節分祭

市内各所で節分の「豆まき」

新春を迎える節分の恒例行事「豆まき」が2月2日から13日までの間、市内各所で行われ、厄を祓って福を呼び込もうと大勢の人でにぎわいました。

今年は、市内の節分祭をきっかけに、下妻の観光や物産を広く知ってもらおうと、5か所の神社や節分祭を回って、3か所以上のスタンプを集めると、抽選で下妻市観光協会の商品券が当たる「しもつませつぶんスタンプラリー」が実施され、訪れた参拝客が社務所でスタンプを押す姿が見られました。



高道祖神社（2月13日）



下妻神社（2月3日）



買い物客で賑わう下妻市の特設ブース

新規就農者が東京都足立区で野菜を直売

北千住宿場町通り商店街のイベントに参加

下妻市の新規就農者自らが2月1日、丹精込めて作った野菜を東京都足立区で直売しました。

江戸時代、北千住から下妻を通り栃木県の喜連川までを結ぶ「下妻街道」の縁により交流のある「北千住宿場町通り商店街」からLED街路灯完成記念の商店街イベントに参加要請があったものです。

下妻から持ち込んだ採れたてのねぎ、かぶなどの野菜各種といちごの直売は「とても新鮮だ」と大好評で、参加した30歳代男性の新規就農者は「小売りの経験がなかったので楽しかった。作った野菜がお客さんに喜んで買ってもらえて農業への意欲がわいた」と話していました。

商店街の役員からは「毎年様々に企画を変えてイベントを実施している。下妻市は2回目の参加となるが、また参加を呼び掛けたい」と盛況ぶりを喜ぶ話が聞けました。